

賢い選択

COOL CHOICE 推進活動事例集

—— 全国の地域地球温暖化防止活動推進センターの取組み ——



はじめに

2018年4月、第5次環境基本計画が閣議決定され、政府の環境の保全に関する総合的かつ長期的な施策の大綱等が定められました。

SDGs、パリ協定採択後に初めて策定される環境基本計画では、SDGsの考え方も活用しながら、分野横断的な6つの「重点戦略」を設定し、環境政策による経済社会システム、ライフスタイル、技術などあらゆる観点からのイノベーション創出や、経済・社会的課題の「同時解決」を実現し、将来に渡って質の高い生活をもたらす「新たな成長」につなげていくこととしており、その中で、地域の活力を最大限に発揮する「地域循環共生圏」の考え方を新たに提唱し、各地域が自立・分散型の社会を形成しつつ、地域の特性に応じて資源を補完し、支え合う取組みを推進していくこととしています。

地球温暖化防止活動推進センターは、このような社会のあるべき姿の実現に向けて、温暖化対策の観点から地域に根差したCOOL CHOICE国民運動を推進しており、本誌ではその活動や成果の一部を紹介しています。

地域で実施する温暖化対策のより一層の促進には、様々な地域主体とのパートナーシップが必要不可欠です。本誌がきっかけとなり、地域の新たなパートナーシップが構築されますと幸いです。

2019年3月

全国地球温暖化防止活動推進センター
(一般社団法人地球温暖化防止全国ネット)

目次

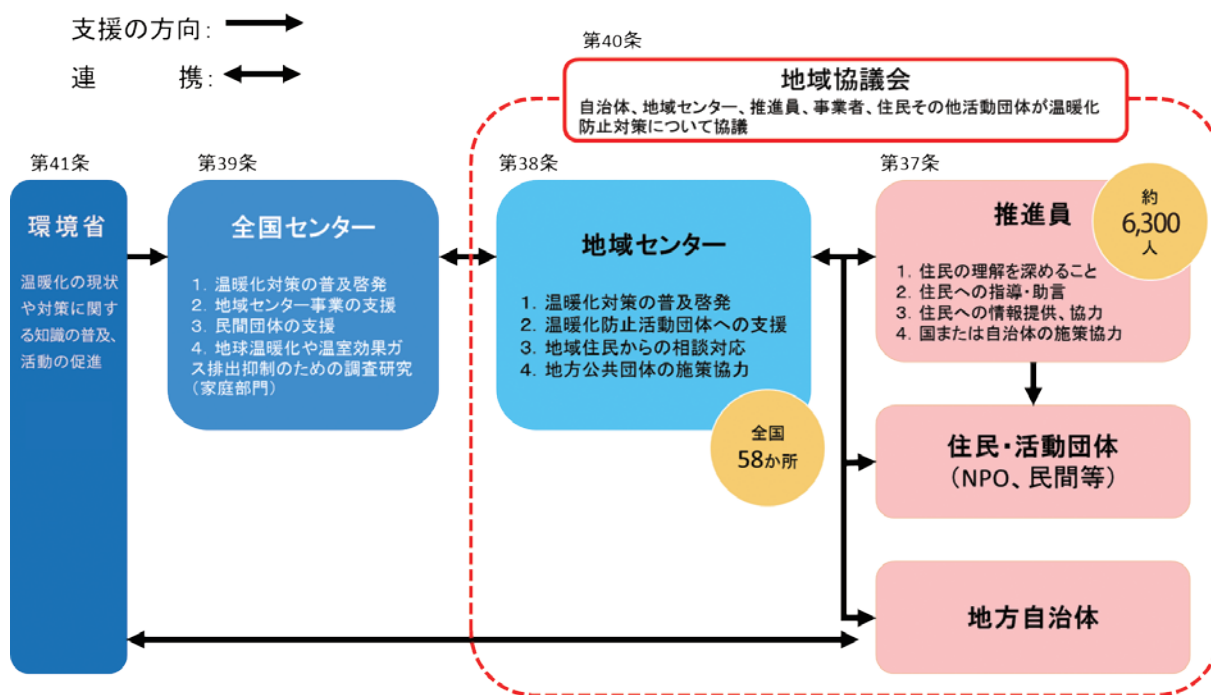
1	地域地球温暖化防止活動推進センターってなに？……………	p1
2	地域地球温暖化防止活動推進センターの取組み……………	p2
	どんな活動をしているの？……………	p2
	どれくらいの人に情報を届けたの？……………	p3
	どんな人たちと一緒に活動しているの？……………	p4
	どんな人たちが活動しているの？……………	p5
3	COOL CHOICE を広げる特徴的な活動事例……………	p6
4	ほかにもたくさん！ 地域センターの活動事例……………	p11
5	地域センター所在地一覧……………	p25

1 地域地球温暖化防止活動推進センターってなに？

地域地球温暖化防止活動推進センター（地域センター）は、地球温暖化対策推進法に基づき全国の都道府県、指定都市などの首長が指定して設置される、地域で地球温暖化防止活動に取り組む法的な根拠をもった唯一の拠点です。現在、58の地域センターが指定されています。

地域センターは、全国地球温暖化防止活動推進センター（全国センター）や地球温暖化防止活動推進員（推進員）、地方自治体などと連携しながら、地球温暖化防止のためのさまざまな活動を行っています。

地球温暖化対策の推進に関する法律における普及啓発体制



Column

日本の温室効果ガス排出削減目標と地域センターの役割

COP21において採択されたパリ協定では、日本は2030年度までに2013年度比で温室効果ガスを26%削減するという目標を掲げました。部門別に見ると、家庭部門では、約40%という高い削減目標を掲げていますが（右図）、2017年度の排出量は、2016年度比で約2%増加してしまっており（※）、各家庭における温暖化防止活動の促進が急務となっています。

「COOL CHOICE」国民運動は、省エネ・低炭素型の製品への買換え・サービスの利用・ライフスタイルの選択など、地球温暖化対策に資する「賢い選択」をしていこうというものです。地域センターでは、家庭部門をはじめとする地球温暖化対策を実施するための地域拠点として、普及啓発活動の実施、温暖化防止活動実施主体の支援等を行っています。

※温室効果ガスインベントリオフィス（2018）：2017年度（平成29年度）の温室効果ガス排出量（速報値）＜概要＞

約束草案の達成に向けて

～2013年度比 温室効果ガス26%削減の各部門における内訳～

	2030年度CO ₂ 排出量の目安 (単位:百万t-CO ₂)	2013年度CO ₂ 排出量 (単位:百万t-CO ₂)
エネルギー起源CO ₂	927	2013年度比 約 25%削減 1,235
産業部門	401	2013年度比 約 7%削減 429
業務その他部門	168	2013年度比 約 40%削減 279
家庭部門	122	2013年度比 約 40%削減 201
運輸部門	163	2013年度比 約 28%削減 225
エネルギー転換部門	73	2013年度比 約 28%削減 101

環境省地球温暖化対策推進本部決定「日本の約束草案」よりJCCCA作成

約束草案達成のための部門別排出削減目標

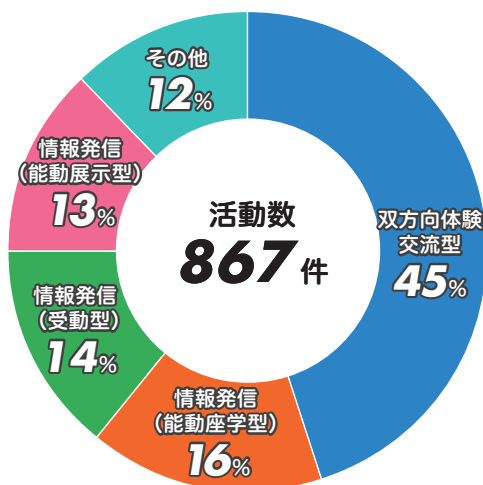
2 地域地球温暖化防止活動推進センターの取組み

どんな活動をしているの？

地域センターが実施した普及啓発活動の件数

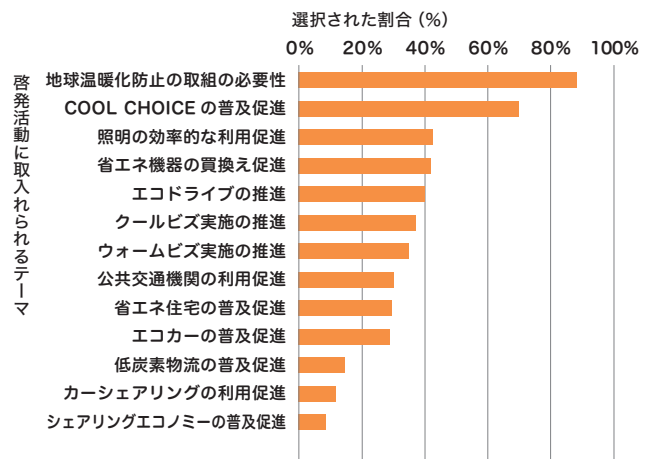
867件

地域センターはさまざまな地域主体と綿密に連携しながら、地域での地球温暖化防止に係る普及啓発を実施しています。地域センターには、地域での温暖化防止活動に関するさまざまな知識やノウハウが蓄積されており、地域の課題や目標に合わせた環境イベントや担い手を育成する研修などを行っているほか、啓発だけでなく、地域の温室効果ガス排出実態等の調査などを行っています。



凡例	具体例
1 双方向体験交流型	体験型学習や省エネ診断等、参加者との双方向のコミュニケーションを通じて普及啓発を行う活動
2 情報発信(能動展示型)	パネル展示等を通じて普及啓発を行う活動
3 情報発信(能動座学型)	講演会や講座等を通じて普及啓発を行う活動
4 情報発信(受動型)	コミュニティFMや新聞広告等を通じ、不特定多数に対して一方的に情報発信を行う活動
5 その他	上記以外の活動(排出実態調査等)

また、その活動に取入れられるテーマは多種多様で、地球温暖化問題の基本的な情報やCOOL CHOICEの賛同拡大を目的とした普及促進策のほか、省エネ家電、省エネ住宅等の普及促進やクールビズやエコドライブ等、ライフスタイルの変容を促す活動だけでなく、再生可能エネルギーやごみ問題、フードロス等、地域の課題に合わせたテーマ設定が可能です。



啓発活動の中に取り入れたテーマの割合

(複数回答) n=867

どれくらいの人に情報を届けたの？

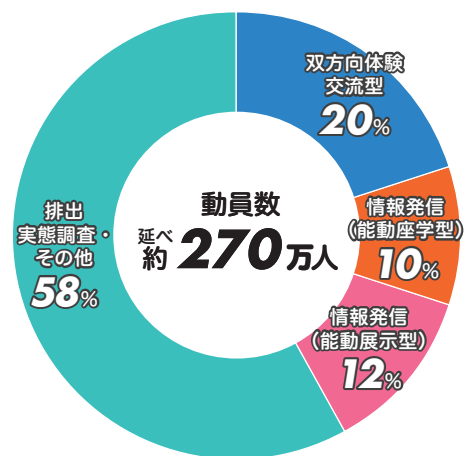
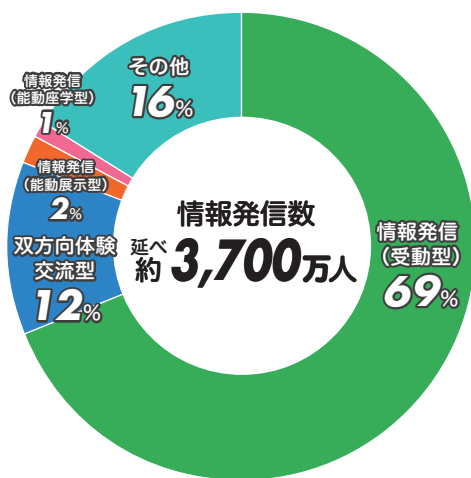
情報発信数

延べ約**3,700万人**

啓発の場等への動員数

延べ約**270万人**

地域センターは、さまざまな活動を通じて、子どもから大人まで、幅広く地球温暖化防止に関する情報をお届けしています。延べ約3,700万人の方に、メディア等に掲載して情報発信やイベント等の告知を行ったほか、約270万人に対しては、イベント会場や出前講座などの場で、直接啓発したほか、家庭からの温室効果ガス排出実態を明らかにするためのアンケート調査等を実施しました。



COOL CHOICE さらに!

地域センターは、「COOL CHOICE」国民運動推進の担い手として、個人や団体の賛同者を集めています。普及啓発活動を実施することで、活動に参加した多くの人たちから賛同いただき、「COOL CHOICE」の理解を得ています。その結果、2018年度は、個人約**31万人**、団体約**2,500団体**から賛同を得ることができました。

Column

270万人の温室効果ガス削減効果

普及啓発事業に係る1人当たりの年間みなしCO₂削減量を138kg-CO₂/年(※)とすると、

約**37万t**—CO₂/年

の削減効果があります!

※平成28年度地域での地球温暖化防止活動基盤形成事業委託業務において算出されたCO₂削減原単位

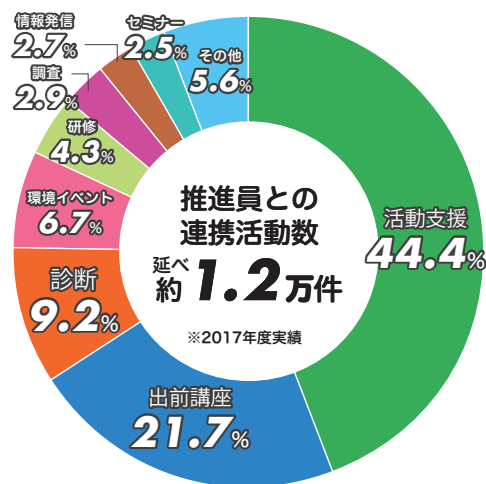
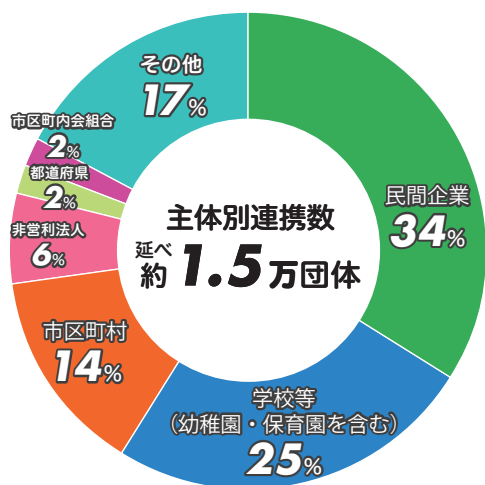
2 地域地球温暖化防止活動推進センターの取組み

どんな人たちと一緒に活動しているの？

地域主体との連携数

延べ約**1.5万**団体

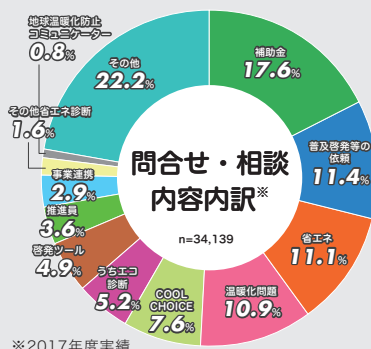
地域センターは、環境省や指定元の自治体などから業務を受け、地域での地球温暖化対策を推進するため、多様な地域主体と連携しながら活動を実施しています。また、専門的な知識を有した推進員と連携した活動を実施することで、啓発対象者に合わせてきめ細かい啓発活動を実施しています。



Column

地域センターの相談窓口

地域センターは、地域の環境イベントや出前講座の開催など、さまざまな場所で普及啓発活動を行っているほか、日々の業務の中で、地球温暖化に関する問合せや相談等にも応えています。また、各種相談窓口や学習施設等を併設しているセンターもあります。地域センターは、地域での温暖化防止のあらゆる疑問に応える拠点を目指して、活動しています。



地域センターの相談窓口 (川崎市センター)

どんな人たちが活動しているの？

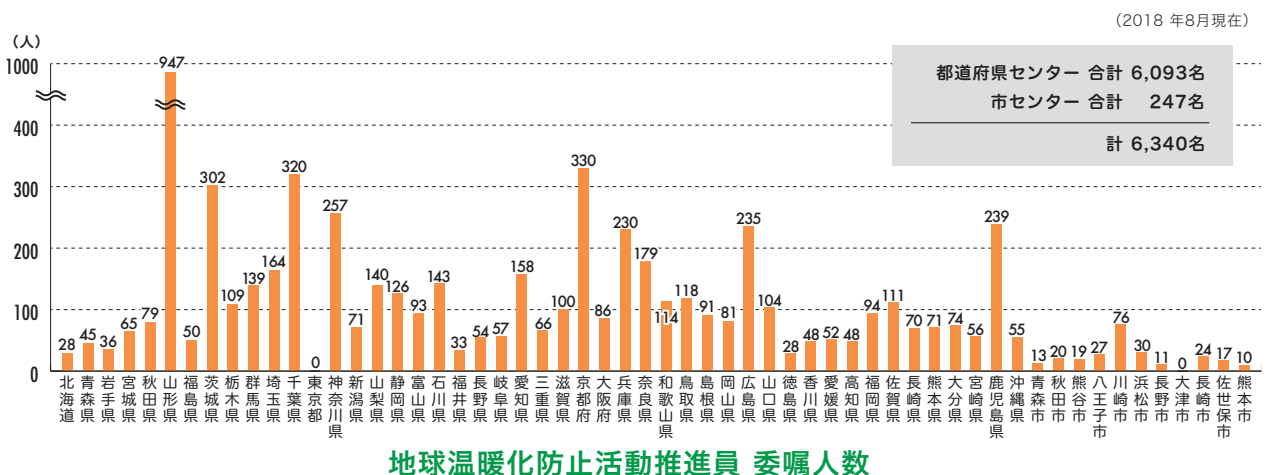
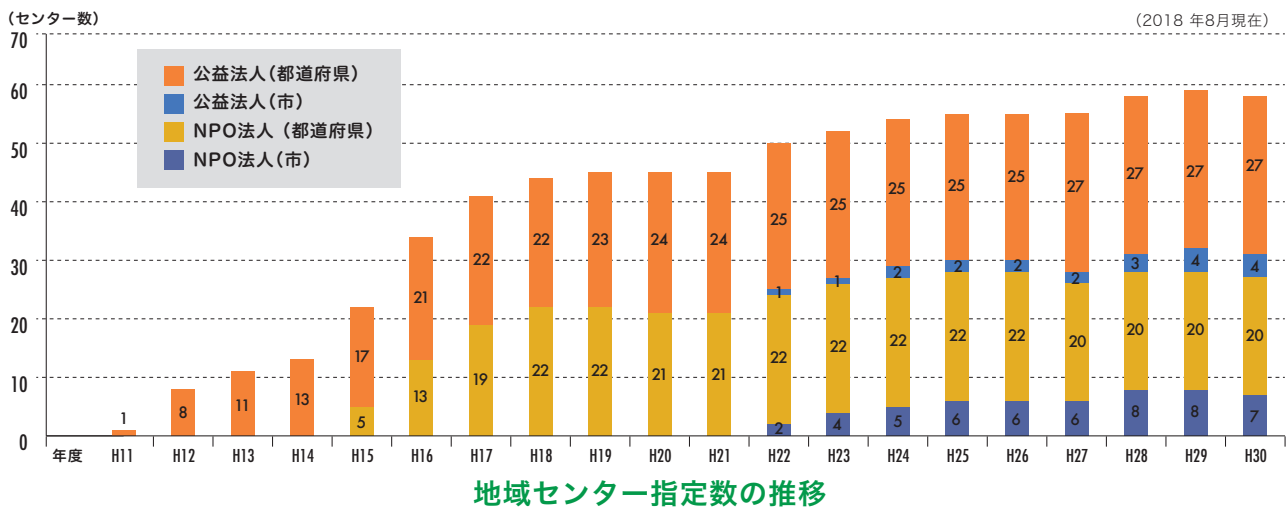
地域地球温暖化防止活動推進センターの数

地球温暖化防止活動推進員の数

58センター

6,340人

地域センター及び推進員は、都道府県市の首長によって指定及び委嘱され、地域での地球温暖化防止活動を推進しています。地域センターは47都道府県すべてに設置されているほか、11の市にも設置されています（2019年3月現在）。また、地域での地球温暖化防止活動の担い手として重要な役割を果たしている推進員は、2018年8月現在、全国で6,340人が委嘱を受け、活動しています。



3 COOL CHOICEを広げる特徴的な活動事例



栃木県地球温暖化防止活動推進センターの活動 COOL CHOICE 省エネ家電買換え促進イベント



ブースでの啓発の様子



ブースのそばに用意されたLED展示コーナー



思わず消しちゃうスイッチ（模型）



家電ペーパークラフト

活動の目的

省エネ家電は、その導入による消費電力量の削減及びCO₂排出削減が期待されますが、イニシャルコストの高さから、買換え対象として選択されないことが少なくありません。この活動では、省エネ家電がもたらす効果等に関する啓発活動を実施し、関心を持ってもらうことで買換えを促すことを目的としました。

実施方法

ショッピングセンターや道の駅など、多くの方が集まる場所で、省エネ家電買換えを啓発するためのブースを出展しました。環境イベント等でのブース出展とは異なり、ブースを訪れることを目的に来場された方はいないため、「省エネ」や「温暖化問題」に関心のない人に対しても、啓発することができました。

実施上の注意点

「電気店の回し者」と思われないように、市町からの協力を得るなど、公正性をアピールするほか、地元感を出すこと、出展に協力してくださったショッピングセンター等にもプラスになるような広報を意識する必要があります。

ブースに立ち寄ってもらうための工夫

ブースには、買換えによる効果を啓発するための展示型のコンテンツを展示しておくだけでなく、「思わず消しちゃうスイッチ」や家電のペーパークラフト、射的ゲームなど、思わず触りたくなってしまおうような、体験型の啓発教材を多数用意しました。これらを体験していただいている間に、より詳しい省エネ家電のメリットなどをお伝えするようにしています。

製品	買換えのタイミング	CO ₂ 削減効果
エアコン	・暑さ油断がなくなる ・電気代が安くなる ・以前より電気代が抑えられるように感じる ・電気代が高くて、テレビの電源を上げたことがある	年間CO ₂ 削減効果: 17% 削減効果: 201 (従来) vs 168 (買換え) 削減効果: 33 (買換え) 削減効果: 201 (従来) vs 168 (買換え) 削減効果: 33 (買換え) 削減効果: 201 (従来) vs 168 (買換え) 削減効果: 33 (買換え) 削減効果: 201 (従来) vs 168 (買換え) 削減効果: 33 (買換え) 削減効果: 201 (従来) vs 168 (買換え) 削減効果: 33 (買換え)
電気冷蔵庫	・庫内の冷えが早い ・扉が開けやすくなる ・音が静かになる ・省エネ効果がある	年間CO ₂ 削減効果: 56% 削減効果: 142 (従来) vs 62 (買換え) 削減効果: 80 (買換え) 削減効果: 142 (従来) vs 62 (買換え) 削減効果: 80 (買換え) 削減効果: 142 (従来) vs 62 (買換え) 削減効果: 80 (買換え)
テレビ	・画面が明るくなる ・音が静かになる ・省エネ効果がある ・買い替えた後、画面が暗くなる	年間CO ₂ 削減効果: 59% 削減効果: 98 (従来) vs 39 (買換え) 削減効果: 59 (買換え) 削減効果: 98 (従来) vs 39 (買換え) 削減効果: 59 (買換え)

タペストリー型の展示パネル



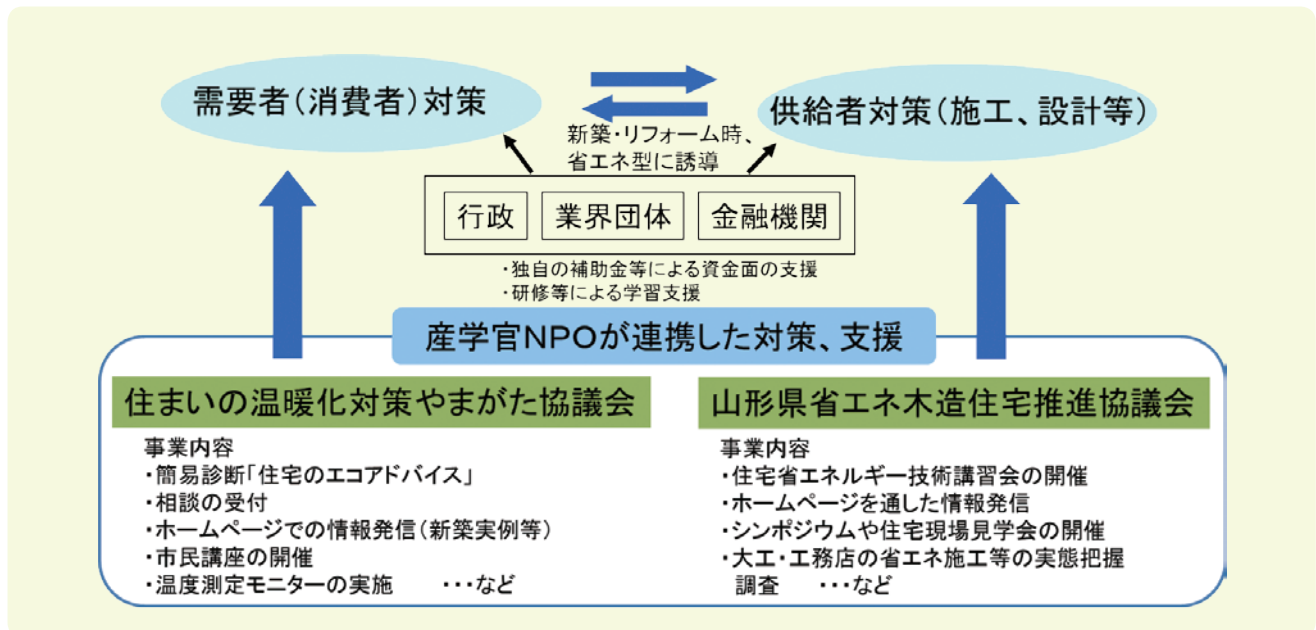
山形県地球温暖化防止活動推進センターの活動 省エネ住宅・省エネルギーリフォーム普及の取組み

活動の目的

山形県のような雪国では、冬季の暖房使用によるCO₂排出量が多いため、住宅の断熱性を向上させることが地球温暖化対策の大きな成果につながると期待されます。さらに、ランニングコストの低い高気密・高断熱の住宅を地元業者が建築することは、地域経済の活性化も期待できることから、地球温暖化対策並びに地域活性化を目的として本活動を実施しました。

実施内容

省エネ住宅・省エネルギーリフォームの普及に当たっては、需要者側（施主、一般消費者）と供給者側（工務店、設計士、大工技能者）それぞれに啓発が必要と考え、それぞれを対象とした2つの協議会（県庁、大学、建築関係団体等で構成）を設立し、各種啓発活動を展開しています。



需要者向けの啓発活動



供給者向けの啓発活動



得られた成果や行動変容につなげるための工夫

需要者側には、省エネ住宅に関する講座や実際にエコ住宅を見学するバスツアーなど、基本的な学習から実際に体験してもらうところまで、バリエーションに富んだ啓発を実施しました。供給者側には、住宅の省エネルギー技術に関する講習会や、シンポジウムの開催、施工現場の見学会などを実施し、施工に係る技術向上を図るとともに、省エネ住宅、省エネルギーリフォームを積極的に広げてもらうこととしました。

協議会を設立し、数多くの住宅関連団体に参画いただいたことで、啓発活動の幅が広がり、需要者側、供給者側の認知や実践状況等に合わせた啓発活動を行うことができました。また、非営利団体である山形県センターが窓口となったことで、特に消費者が見学会等に参加しやすい環境を作ることができました。

3 COOL CHOICEを広げる特徴的な活動事例



京都府地球温暖化防止活動推進センターの活動 宅配便「再配達削減チャレンジ！」キャンペーン

活動の目的

京都府域における運輸部門の温室効果ガス排出量は下げ止まり、貨物による排出が増加しています。これは昨今のインターネットでの買い物の増加が一因であると考えられます。宅配便再配達の削減は、CO₂ 排出削減のみならず、働き方改革・炭素生産性や労働生産性の改善・受け取り側の手間の削減など、様々なコベネフィットをもたらします。しかし、この認識は広まっていません。そこで、宅配便が大幅に増加するお歳暮クリスマスお正月の時期であり、地球温暖化防止月間でもある12月を中心にキャンペーンを展開しました。

個人に取組みを広げる工夫：再配達削減チャレンジ！

再配達問題や宅配便のかしこい受け取り方法についてまとめ、環境イベントやSNS等を通じて情報発信して、再配達削減取り組みの実践を呼びかけました。

web アンケートで回答 (n=120) によれば、1カ月間で206回だった再配達回数は、チャレンジ後に97回へと激減(再配達率約52%削減)。受け取り手の利便性向上にもつながることが確認できました。

再配達削減チャレンジをした人の再配達回数は、

約52%削減！

(チャレンジ実施後のwebアンケート回答者120名の平均)



イベントの様子



個人向けパンフレット

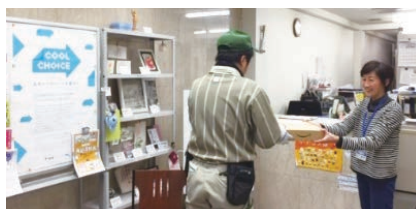
事業所を通じて広げる工夫： 職場受け取り1カ月間チャレンジ

個人の荷物を職場で受け取る「職場受け取り」について、中小事業所を中心に参加を呼びかけました。参加20事業所中、アンケートに回答のあった10事業所で、1カ月間で計83回の職場受け取りが実践されました。職場受け取りはコストゼロで実施できる社会貢献であり、従業員の福利厚生の一環にもなると、参加された事業者の方々から好評でした。また、すべての事業所が「今後も職場受け取りを継続したい」と回答しました。

職場受け取りに参加した10事業所で

83回 職場受け取り

(約1カ月のチャレンジ期間の受け取り回数)



職場受け取りの様子



事業所向けパンフレット

広がりを見せる再配達削減の取組み

本キャンペーンは、京都府や宇治市等の自治体、事業者関連団体や消費者団体と連携して実施しました。京都府や福知山市の広報誌に再配達問題が取り上げられたり、宇治商工会議所のホームページに職場受け取りの情報が掲載されたりなど、府内での取組や情報発信が広がりを見せています。



広がりを見せる再配達削減の認知(きょうと府民だより)



これからの、マナー。

熊本県地球温暖化防止活動推進センターの活動 エコドライブ診断リレー

活動の目的

熊本県は、自動車利用によるCO₂排出割合が高いことから、エコドライブを県内に幅広く普及拡大することで、自動車利用によるCO₂排出削減を図ることを目的としました。

実施方法と実践につなげてもらう工夫

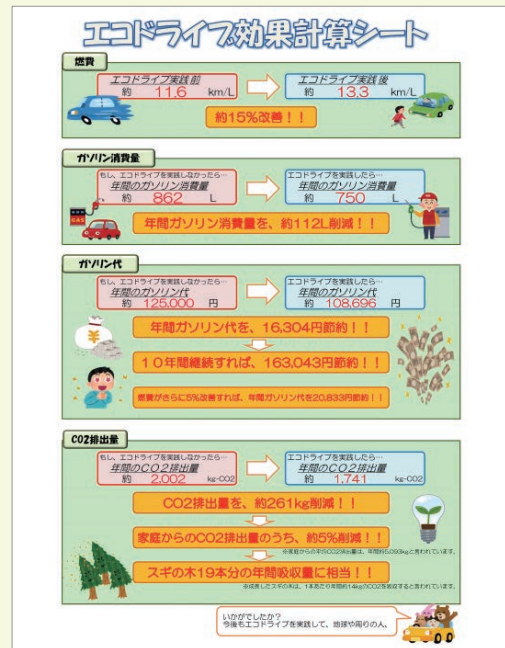
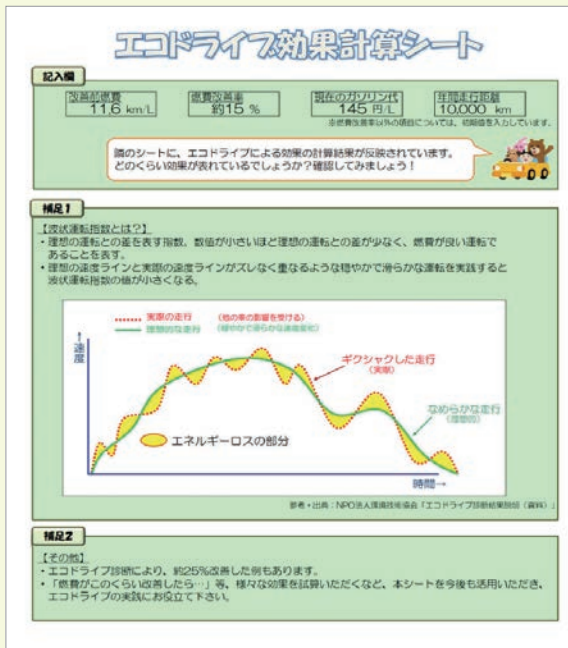
普段の運転でエコドライブを実践したいと思っていただけるように、効果が実感できる方法を取り入れました。具体的には、「GPS ロガー (受信機)」を体験者に貸し出し、普段通りの運転とエコドライブを意識した運転を実施していただき、双方の計測結果の差をもとに「エコドライブ効果計算シート」で結果を「見える化」しました。

「エコドライブ効果計算シート」では、燃費の改善やガソリン使用量、ガソリン代など節約できる値とCO₂排出削減量を示すことで、体験者に継続的な実践を促しました。



車内に設置した「GPSロガー」

エコドライブの効果を見える化した「エコドライブ効果計算シート」



エコドライブ診断を広げていく工夫

「エコドライブ診断リレー」と銘打ち、主に熊本県ストップ温暖化県民総ぐるみ運動推進会議に登録する企業・団体・個人に周知しました。体験者からその関係者へつなげていく「リレー方式」にした結果、それほど苦勞することなく参加していただくことができました。

3 COOL CHOICEを広げる特徴的な活動事例



長野県地球温暖化防止活動推進センターの活動 県下一斉ノーマイカー通勤ウィーク

活動の目的

自動車からの温室効果ガス排出削減の取組みとして、長野県では、「環境にやさしい通勤手段への転換」を促進することを目的に、マイカー通勤者の公共交通機関の利用促進のための活動を実施しています。また、長野県が推進する健康づくり県民運動「信州 ACE (エース) プロジェクト」とタイアップすることで、「日常生活の中で体を動かすきっかけづくり」にもつながることをアピールしています。

実施方法と成果

9月15日～30日の期間をノーマイカー通勤ウィークに設定し、長野県庁や長野県公共交通活性化協議会と連携して参加する事業所を募集しました。その結果、県内の民間企業や市町村など、87の事業所、8,098人が参加し、マイカーから転換した延べ通勤距離は260,108km、削減した燃料使用量は22,423L、CO₂排出削減量は、52トンとなりました。



健康づくり県民運動
「信州ACEプロジェクト」ロゴ

県下一斉ノーマイカー通勤ウィーク キャンペーンチラシ

事業所名	住所	従業員数	マイカー通勤者数	マイカー通勤者数	マイカー通勤者数

実践につなげてもらう工夫

健康づくり県民運動の一環として、体を動かすきっかけづくりになるところから、参加と実践を促しています。そのほかに、通常は水曜日しか使うことができない公共交通機関の特別割引回数券を、期間中は毎日使用できるようにするなど、普段、公共交通機関に乗りなれていない方も、お得感を感じて、公共交通を利用するきっかけになるように、各交通機関に協力をいただきました。

4 ほかにもたくさん！地域センターの活動事例

地域センターでは地球温暖化防止に関する普及啓発活動を中心に、環境イベントへの出展、出前講座や研修の実施、省エネ診断の実施のほか、地域の地球温暖化防止活動の支援など、幅広い活動を実施しています。

■ 活動に関するアイコンについて

＜活動のテーマ＞

項目	アイコン	概要
省エネ家電買換え		「統一省エネルギーラベルの星の数の多い家電への買換え」や「LED照明への買換え」を呼びかけるなど、省エネ家電への買換えを推進する取組み
チョイスエコカー		ハイブリッド車や電気自動車など、温室効果ガス排出削減につながるエコカーへの買換えを推進する取組み
省エネ住宅・断熱リフォーム		快適性や光熱費削減が期待できる「省エネ住宅」の購入や「断熱リフォーム」実施等を推進する取組み
COOL BIZ		涼をとるための様々な工夫を通して、夏場の室温28℃を目安に快適に過ごすためのライフスタイル等を推進する取組み
COOL SHARE		複数のエアコン使用をやめ、なるべく1部屋に集まる工夫をしたり、公園や図書館などの公共施設を利用することで、涼をシェアすることを推進する取組み
WARM BIZ		暖をとるための様々な工夫を通して、冬場の室温20℃を目安に快適に過ごすためのライフスタイル等を推進する取組み
WARM SHARE		複数の暖房使用をやめ、なるべく1部屋に集まる工夫をしたり、商業施設の利用やスポーツの実施など、暖をシェアすることを推進する取組み

項目	アイコン	概要
エコドライブ		温室効果ガス排出削減や事故の低減にもつながるエコドライブを推進する取組み
スマートムーブ		移動の際に排出される温室効果ガスを削減するため、公共交通機関等の利用を推進する取組み
1回で受け取りませんか		社会問題にもなっている宅配便の再配達を削減して、再配達による温室効果ガス排出削減を推進する取組み
うちエコ診断		環境省公的資格の「うちエコ診断士」が、各家庭のライフスタイルに合わせた省エネ、温暖化対策を提案する家庭向けのエコ診断
COOL CHOICE 普及拡大		COOL CHOICEの普及拡大を図る取組み
その他		その他、地球温暖化防止を推進する取組み

北海道センター 意識・行動を促進させる仕掛け



エコドライブ普及における訴求効果の向上を目指した取組み

地域行事等でエコドライブシミュレーターの体験教室を年6回実施しました。プロジェクターで体験映像を拡大表示したほか、体験教室毎のターゲット層に応じて適切な情報提供（環境配慮、節約、交通安全等）を行うなど、意識・行動を促進させる仕掛けを施し、訴求効果の向上に努めました。

また、体験後に配布した啓発冊子についても、冬道運転等の地域性を考慮しながらデザインを行い、意識が向くような要素を盛り込んでいます。



エコドライブシミュレーターの体験教室

青森県センター COOL CHOICEを各世代にわかりやすく



出前講座におけるCOOL CHOICEの普及啓発

県内各地の公民館や児童館、市民センターなどで推進員や地球温暖化防止コミュニケーターが講師となって実施する環境出前講座において、COOL CHOICEの紹介を行っています。対象は小学生からお年寄りまで幅広いため、講座ごとにプログラムを見直し、クイズ形式にしたり、映像を活用したりといった工夫をしています。すぐに実践できる賢い選択についてわかりやすく伝えるよう心がけています。



地域における環境出前講座の様子

4 ほかにもたくさん！地域センターの活動事例

青森市センター 5年生を通じて実践を促す家庭の省エネ行動

活動テーマ COOL CHOICE

地球を守る5年生アンケート

小学5年生を対象とした地球温暖化に関する環境教育を通じて、子どもたちの環境意識の醸成だけでなく、家庭で実践してもらうことによる大人への波及効果を狙った活動を実施しています。また、子どもたちが実践した省エネ行動について聞くアンケートで、削減につながったCO₂の量を具体的に示し、成果の見える化と継続的な実践を促しています。継続3年目となる今年度は参加校も増え、学校の意識も高まっています。



子ども達に感謝状を送りました。

岩手県センター WEBでできる電気使用量・省エネチェック！

活動テーマ COOL CHOICE, ECO VOICE, COOLBIZ, WARBIZ, ECO DRIVER, smart move, ECO2, COOL CHOICE

いわてわんこ節電所で省エネ促進

岩手県センターは、家庭の省エネ、節電について啓発・実践を促すために、WEB上で電気使用量や省エネ行動のチェックができる「いわてわんこ節電所」を開設しています (<https://www.co2-diet.com/#home2>)。各家庭の現状や省エネ行動の成果を見える化でき、さらなる取組みの促進が期待できます。また、「いわてわんこ節電所」の成果やコンテンツを取りまとめ、イベントでの普及啓発にも活用しています。



いわて温暖化防止フェアでのPR

宮城県センター プロスポーツと連携し温暖化防止への普及啓発

活動テーマ COOLBIZ COOL CHOICE

エコチャレンジフェスタinユアスタ仙台

宮城県を拠点とするプロスポーツの観戦者を対象に、「地球温暖化」問題に関心をもつきっかけ作りとして実施しました。ブース出展だけでなく、試合中の横断幕行進を行い温暖化防止の重要性について呼びかけることができました。

プロスポーツと連携し試合会場イベントを行ったことで多くの集客が出来たと共に、普段の活動で交わる機会の少ない層（温暖化に関心の低い層）に対しても啓発することができました。



温暖化防止クイズラリーも実施！

秋田県センター テーマ 「知る」「考える」「体験する」

活動テーマ COOL CHOICE

あきたエコ&リサイクルフェスティバル出展

幅広い年齢層に対して地球温暖化問題を普及啓発する工夫として、地球温暖化の現状に関するパネル展示だけでなく、クイズや魚のつりゲーム、エコキャンドル作りなど、楽しく学べる体験コーナーをイベントブースの中に設けました。体験コーナーは子どもたちに大人気で、子どもたちが夢中になっている間に、親御さんに対して家庭でできるCOOL CHOICEをPRできたことで、特に若い世代からの賛同を得ることができました。



釣りゲームで海をきれいに

秋田市センター 多世代対応&無関心層へのアプローチを実現

活動テーマ      その他

アプリで推進！秋田市地球温暖化対策PJT

環境配慮行動が少ない、或いは無関心層の地球温暖化対策導入ツールとして「あきエコどんどんアプリ」を開発しました。ガラケー参加システムによる多世代対応、COOL CHOICEやごみ情報ページ構築等の多様化を図り、進化しながらプロジェクトを継続展開しています。協力公共施設・事業所104ヵ所、参加者2,800人、アクション総合計6万件の実績を得て、地域に根差した地球温暖化対策を推進しています。



アプリを通じて普及啓発！

福島県センター 環境教育フェスティバルに出展、高校と連携促進

活動テーマ その他

環境教育・環境学習の推進

福島県センターも構成員である「ふくしま環境活動支援ネットワーク」が主催し、夏休み期間に開催された「環境教育フェスティバル～ふくしまで育つ・未来の芽～」に、県内の高校17校と一緒に出展しました。来場した高校の生徒、教師のみなさんへ、地球温暖化の現状や対策、防止活動の紹介などを通して、環境学習・環境教育の大切さをアピールしました。環境学習・環境教育に積極的に取り組む高校を表彰する制度も作ることにしました。



先生と環境教育について意見交換

茨城県センター 4,101人から賛同を得ました！

活動テーマ     

環境展等におけるCOOL CHOICEの周知

県民の地球温暖化に対する関心を高め、温暖化防止の各種対策効果に繋げることで、地球温暖化防止に寄与します。

市町村等が主催する環境展への出展や地球温暖化防止活動推進員による出前講座において、来場者等に対してCOOL CHOICEの取組みを説明し、個人賛同2,200人の目標に対し、目標を大きく上回る4,101人から賛同を得ました。



子どもたちにフリップを使って説明

群馬県センター 持続可能なスマートムーブ～免許返納後も移動に困らない社会をめざして～

活動テーマ 

COOL CHOICEぐんまフォーラム

本県は、運輸部門のCO₂排出比率が全国に比べ10ポイント以上高い状況の中、公共交通の利用者・運行本数とも減少傾向にあります。近年、運転免許返納により買い物や通院などに支障を来す「移動難民」が増加しており、公共交通の再生が喫緊の課題となっています。県によるバスのオープンデータ化を契機に、トラベル・フィードバック・プログラムを活用してスマートムーブを推進する展望が開けてきました。



フォーラム会場風景

4 ほかにもたくさん！地域センターの活動事例

埼玉県センター つながろう 広がろう 世代を超えて エコの環

活動テーマ 

第9回低炭素まちづくりフォーラムin埼玉

県内の環境保全に携わる有志が集まり、低炭素社会の実現に向けてワークショップやパネルディスカッションをとおして現代のライフスタイルを見直すとともに、問題や課題を発見し今後の取組へと繋げています。

実行委員には環境団体、企業、行政、学校関係、埼玉県地球温暖化防止活動推進員等が参画することで年々拡大しており、約500人がフォーラムに参加し積極的な議論を交わしました。



学生と COOL CHOICE（展示会場）

熊谷市センター 暑い熊谷、みどりのカーテンを育てよう！

活動テーマ 

熊谷市みどりのカーテン補助金及び写真コンテスト

日本一暑い実績を残した熊谷ではみどりのカーテンの普及に力を入れています。ゴーヤ苗の無償配布やカーテン効果の温度測定を実施したほかカーテン実施のための補助金制度や写真コンテストなども行っています。当センターでは、これらの受付業務を受託して協力しています。一般家庭をはじめ学校、公民館、企業等の参加があります。



写真コンテスト入選作品

千葉県センター 「君野イマ・ミライ」の等身大パネルで啓発

活動テーマ 

未来のための「COOL CHOICE」啓発

市民対象に地球温暖化の講演会が開催される会場の出入りに、前日から「君野イマ・ミライ」の等身大パネルを掲示し「COOL CHOICE」について関心を持ってもらうようにしました。等身大パネルは非常にインパクトがあり子どもから大人まで立ち止まり興味を示していただき、その結果多くの来場者から「COOL CHOICE」への賛同の取得につながりました。



「君野イマ・ミライ」の啓発活動

東京都センター ビー玉ゲームでシロクマさんを救おう！？

活動テーマ   

「COOL CHOICE」イベント出展

COOL CHOICE (=賢い選択) の普及啓発を行うため、自治体などが主催するイベントへ出展しました。

賛同の募集を行い、具体的に帰ってから取組みたい「賢い選択」を、発電した電気で動くビー玉転がし装置で投票してもらいます。

シロクマさんは救えたかな？手回し発電機で動く手作りの装置に、子どもも大人も興味津々でした。ビー玉一つ一つに参加者みなさんの思いが込められました。



どの「賢い選択」が一番多いかな？

八王子市センター ムダを探してCOOL CHOICE シールを貼ろう

活動テーマ



学童保育所への環境出前講座「学童エコスクール」

平成30年度から、学童保育所の児童向けに、出前講座として環境教育を実施しています。講座は、先生（推進員）による篠笛の演奏に合わせて童謡を歌い、写真で地球温暖化の影響を見て、紙芝居で地球温暖化の話を見聞きし、最後にムダを探してCOOL CHOICEのシールを貼るクイズを行います。講座で学んだことをおうちの人に伝えて、家族で省エネになることを実践してもらってます。



COOL CHOICE シールを貼る

神奈川県センター 6月の「環境月間」、12月「ストップ温暖化推進月間」特設コーナーを設置

活動テーマ



「かながわクールチョイス普及啓発促進特設コーナー」

神奈川県センターが入居している「かながわ県民センター」の1階ロビーの展示スペースに「かながわクールチョイス普及啓発促進特設コーナー」を設置し、「クールチョイス普及ポスター」や「環境省萌えキャラクター」の展示などにより、年間80万人を超える来館者にCOOL CHOICEを啓発しました。また、専門家である「環境アドバイザー」が展示内容の説明を行うことで、より理解を深めてもらうようにしました。



「クールチョイス特設コーナー」での普及写真

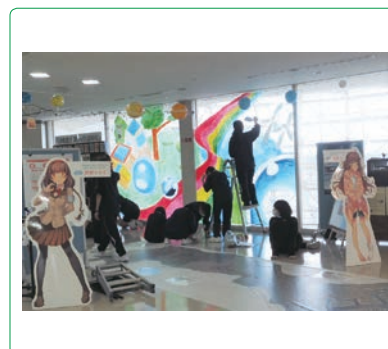
川崎市センター 中学生が「地球温暖化」をテーマに大きなボードに作品を制作

活動テーマ



中学生(美術部)が描く COOL CHOICE アート

川崎市立中学校美術部の5校の皆さんに、地球温暖化に関する作品を大きなボード（縦60cm、横120cm）に描いてもらい、イベントで展示しました。また、高津中学校美術部の皆さんには、川崎市地球温暖化防止活動推進センターの大きなガラス面（縦260cm、横450cm）に「オーバー ザ レインボー」と題した作品を制作していただきました。COOL CHOICE の啓発が浸透していないと思われる中学生へのアプローチとして取り組み、「生徒からみた地球温暖化」をアートとして見える化することができました。



川崎市立高津中学校・美術部の制作風景

山梨県センター お坊さん、JICA、動物園関係まで多様な参加者

活動テーマ



地域・暮らしからはじまるSDGs

温暖化防止活動推進員研修会は、推進員以外の方も参加できる学びの場。推進員にとって、新たな視点と縁につながる場です。2030年に向けた人類が取り組む決意、SDGsには、「気候変動に具体的な対策を」の項目に、温暖化防止活動は明確に位置づけられています。複雑に絡まりあう課題を、パートナーシップで解決していこうという時代。SDGsという共通言語でCOOL CHOICEをすすめています。



ゲストも参加者と一緒に学ぶ場。

4 ほかにもたくさん！地域センターの活動事例

静岡県センター 一気に啓発1万人！応援も賛同も盛り上げる！

活動テーマ 

サポーターを巻き込め！プロスポーツチームとコラボ！

スポーツイベントでの啓発（ブース・大型ビジョン）は、一度にかなりの人数、また普段環境問題に興味のない老若男女全ての層にアプローチできるという利点があります。観戦における来場者の気分の高揚や一体感は、COOL CHOICE賛同の機運を盛り上げるにも有効です。「スポーツシーンへの温暖化の影響」を伝えつつ、「チームのエコ活動」の発信、賛同者へのコラボグッズ配布はチームにもサポーターにも喜ばれます。



スタジアムの大型ビジョンでPR!

浜松市センター 年間来場者2,000人!! エコハウスへ行こう!

活動テーマ        

COOL CHOICE発信基地「浜松市エコハウス」

エコハウスは市営のモデルハウスです。夏は涼しく、冬はあたたかい、たくさんの環境にやさしい設計や設備を実際に見て、触って、体感することができます。あなたのご自宅に、エコハウスで紹介している設備等を取り入れ、賢い選択をしましょう。初めての方は、毎月エコハウスで数回実施されている各種のイベントへの参加がおすすめです。開館日は毎週金土日の9:30~16:30です。



浜松市エコハウスモデル住宅

新潟県センター ロングライド受付会場で賛同登録を呼びかけ

活動テーマ 

佐渡ロングライドでCOOL CHOICE

新潟県センターでは、推進員などの協力を得ながらイベントや日常の活動でCOOL CHOICE賛同拡大の取組みを行っています。佐渡地区で行われた佐渡一周自転車レース「佐渡ロングライド210」では、推進員と佐渡市環境対策課が共同して受付会場でCOOL CHOICEの普及啓発を行いました。環境関連だけでなく様々なイベントで啓発を行うことで、より広い層からも賛同を得ることができました。



ロングライドから COOL CHOICE!

富山県センター 子どもから大人につなげる温暖化対策！

活動テーマ     

とやま環境チャレンジ10事業

「とやま環境チャレンジ10」は、県内各小学校の4年生を対象に、推進員が地球温暖化問題に関する授業を行い、各家庭における節電等の10の取組みを決めて、家族とともに一定期間対策を実践し、その成果を自己評価するというものです。子どもたちの環境意識の醸成だけでなく、家庭での実践につなげるプログラムとすることで、家族への波及効果と継続的な実践が期待できる内容となっています。



推進員による授業の様子

石川県センター メインテーマに「COOL CHOICE」



いしかわ環境フェアとタイアップした普及啓発

毎年25,000人以上来場する「いしかわ環境フェア」のメインテーマを「未来のためにクールチョイス」としてCOOL CHOICEの普及啓発を図りました。また、県センターブースでは人気の人力発電で動かすミニ北陸新幹線を体験したあと日常生活で取り組める活動を紹介し理解を深めてもらう工夫したほか、来場者アンケートと兼用した賛同書を採用する等により多数の賛同を得ることができました。



いしかわ環境フェアでの啓発活動

福井県センター 家庭でできることからCOOL CHOICE



つるが環境フェアCOOL CHOICE広報

家庭でのCOOL CHOICE実践を推進するため、つるが環境フェアに出展し、推進員によるうちエコ診断、エコライフ診断を実施するとともに、COOL CHOICEの賛同を呼び掛けました。その他にも、家庭で取り組みやすい節電方法を紹介したパネルを展示するとともに、家庭のさまざまな場所に付けられる「節電タグ」を持ち帰ってもらい、家族の節電意識の共有を促すことで、啓発効果の継続と家族ぐるみで実践してもらうことを狙いとしています。



活気あふれるイベントの様子と節電タグの例

長野市センター 環境活動を次世代につなげるアプローチ



ながの環境団体大集合

環境活動を次世代に向けてどのようにつなげていくかをテーマに、「環境活動アイデアコンテスト」を実施。若者の皆さんが審査員となり、「夢があるで賞」「私たちもやってみたくて賞」などセンスあふれるユニークな賞を授与しました。「ポスターセッション」では、21団体がそれぞれの活動を紹介した資料の展示や体験コーナーなどを企画。オリジナルマイバッグを作るコーナーや各ブースを回るスタンプラリーも設けました。



環境活動アイデアコンテスト

岐阜県センター 今日からできる私のCOOL CHOICE宣言



ぎふ清流COOL CHOICE 広報業務

「ぎふ清流COOL CHOICE」をキャッチフレーズに、県内の商業施設やショッピングモール（13会場）で広報イベントを開催しました。「COOL CHOICE」に関するパネル展示とクイズを実施することで、楽しみながら「COOL CHOICE」への理解を深めてもらうようにしました。さらに、自分ができる省エネ行動を「エコ宣言（COOL CHOICE宣言）」として選んでもらうことで、家庭での実践を促しました。



ショッピングモールでの広報イベント

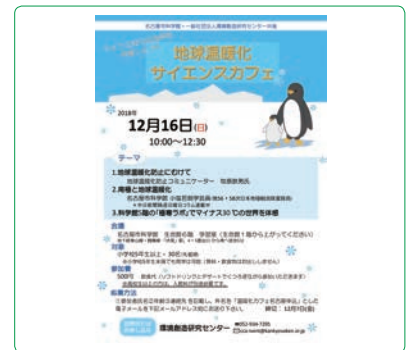
4 ほかにもたくさん！地域センターの活動事例

愛知県センター 名古屋市科学館とのコラボ企画！

活動テーマ 

地球温暖化サイエンスカフェ

一般家庭を対象とした講演会を、セミナー形式ではなく数人でテーブルを囲み、飲食しながら参加者が気さくに意見交換しあえるカフェスタイルで開催しました。内容を地球温暖化の現状やその対策についての話だけでなく、南極観測隊員による南極体験談や、「マイナス30℃の極寒ラボ体験」など、名古屋市科学館と連携して実施したことにより、地球温暖化に普段関心のない方にも参加していただけたほか、大変好評でした。



地球温暖化サイエンスカフェちらし

三重県センター COOL CHOICEをテーマにフェアを開催

活動テーマ 

みえ環境フェア2018

COOL CHOICEをテーマに様々な地球温暖化防止の取組みを紹介する「みえ環境フェア2018」を開催しました。

フェアでは、県民、企業、NPO、行政、大学・高校、地球温暖化防止活動推進員などの参加により、77ブースで日頃の地球温暖化防止等環境活動に関する取組みや活動内容の紹介、体験・工作、電気自動車・燃料電池自動車の展示など、地球温暖化防止にかかる普及啓発を行いました。



みえ環境フェアの会場

滋賀県センター 面白トークでCOOL CHOICEをアピール！

活動テーマ    

地球の未来を守ろう！クリスマストークショー

生き物好きのお笑いタレント「ココリコ」の田中直樹さんと気象予報士片平敦さんによるクリスマストークショーを開催し、小学生から高齢者まで170人に参加いただき、第2部では、森の恵みを利用したナチュラルリースづくり体験も実施しました。楽しいトークにより、地球温暖化防止への理解と行動のきっかけの場を提供することができました。また、参加者全員にCOOL CHOICEの賛同をいただきました。



地球温暖化防止の話に全員が注目

大津市センター わたしにもできる地球温暖化防止！

活動テーマ        

エコライフデーと家庭の省エネ診断

大津市では、省エネに配慮した生活を心がけた一日を過ごしてもらう「エコライフデー」を定め、この日の行動が普段と比べてどれだけ省エネになったか、25項目からなる省エネチェックシートで見える化することで、継続的な実践を促しています。さらに、環境イベントの際、簡単なアンケートで家庭におけるエネルギーの使用状況をチェックしてもらい、省エネのための改善策を提案する家庭の省エネ診断を実施するなど、家庭でできる温暖化対策をサポートしています。



家庭の省エネ診断実施の様子

大阪府センター 地域推進計画の重点項目を体験的に学ぶ

活動テーマ 

クールビズ・ウォームビズ幼児環境教育

泉大津市内で運営されている全ての公立の保育所・幼稚園・認定こども園において実施をしました。講師は大阪市内の専門学校生が担当し、充実した楽しい学習会を行うことができました。成果としては、5園で840名が「COOL CHOICE」に賛同。

各園からの学習プログラムに対する評価は高く、幼児期からの環境教育のモデルとして、今後、広く周知する価値があると考えています。



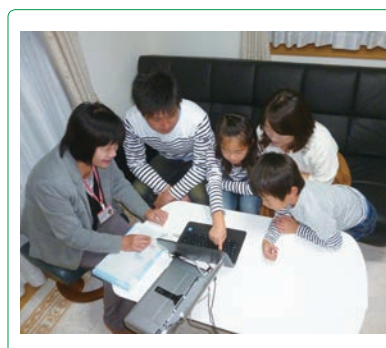
観劇や体験を通じて楽しみながら学びます

兵庫県センター 家庭の省エネ・CO₂削減対策の提案

活動テーマ 

うちエコ診断事業

兵庫県では全国に先駆けて「うちエコ診断」事業を開始し、各家庭のライフスタイルに応じた省エネの提案を進めています。事業の促進にあたっては、学識者や県内の自治体、業界団体等の参加を得て、兵庫県家庭エコ診断協議会を組織し、情報交換や効果的な推進方策等について幅広く協議しながら進めており、太陽光発電システム設置等、県や市が交付する補助金の交付要件として、うちエコ診断の受診を義務付けるなど、受診者の拡大を図っています。



ご家族でのうちエコ診断受診の様子

奈良県センター 隊員25名が「次世代からの環境メッセージ展」を開催

活動テーマ       

COOL CHOICE キャラバン隊による啓発活動

奈良県では、地球温暖化防止活動を推進する「COOL CHOICEエコキャラバン隊」を編成し、環境メッセージ展会場やイベント会場、駅前広場など、多くの人が集まる場所で啓発活動を行っています。啓発活動には、クイズや身近な省エネアドバイスなどを体験してもらったのち、賛同まで促すことができるアプリを開発し、活用しています。わかりやすく楽しいアプリで普段環境問題に関心の薄い層に対しても啓発することができました。



COOL CHOICE キャラバン隊啓発活動

和歌山県センター 小学生を対象にした体験型イベント

活動テーマ 

おもしろ環境まつり

県内の企業、自治体、市民団体などが、今ある環境保全の現状を伝える体験型の出し物を用意しました。全50団体が市内中心部にある商店街アーケード内に出席し、暮らしやエネルギー、地域の生き物の様子など普段はあまり意識が向きにくいテーマが並ぶことで、楽しみながら現状を把握し、参加者がCOOL CHOICEの必要性と、不足しているポイントを理解し持ち帰ってもらえるスタンプラリーなどの工夫を凝らしました。



多くの親子であふれかえる商店街

4 ほかにもたくさん！地域センターの活動事例

鳥取県センター 大学生のエコ劇場&家庭を巻き込んだ「エコ育」推進

活動テーマ **その他**

ちびっ子エコスタート事業

子どもの教科書は大人の背中!を合言葉に、自然豊かな鳥取県ならではのエコライフ普及のため、保育者や保護者向けに「目からうろこ」のエコ育研修会を開催する県主催事業です。園にとっては保育目標の強化につながり、保護者家庭の省エネ実践も期待できるマルチベネフィットな取組み。大学生によるエコ劇場もあり、エコ博士やエコ戦隊「スナバース」による「クイズ!エコ活&ダメ活」で、子どもたちのエコのテンションもUPしています。



エコ戦隊スナバースと一緒にエコスタート!

鳥根県センター 暮らしの質を高め省エネに役立つインテリアの工夫

活動テーマ 

COOL CHOICEセミナー「インテリアの見直しで省エネ」

地球温暖化防止に向け家庭の取組みが必要ということを知り、暖房の需要時期前に、そのエネルギーコスト削減を目指すことを提案しました。インテリアに関心ある女性が集まるギャラリー等で開催し、会場周辺の公共施設やWebサイトで広報をしました。幅広い年代の女性が参加し、比較的安価で手軽に交換できる、LED照明、カーテンや床材を自宅に取り入れ、実践した感想がよせられました。



インテリアデザイナーによる講演

岡山県センター 参加体験型の出前講座でCOOL CHOICE

活動テーマ 

環境学習で「COOL CHOICE」促進

岡山県をはじめ、各種環境団体と協働して、「環境学習出前講座」を実施しています。年間300回以上開催し、温暖化やごみ、エネルギー、暮らしに関することなど、いろいろなテーマで、楽しみながら学び体験できる内容となっています。講座の中で、日常生活における「賢い選択」についても取り入れ、みんなでいっしょに考えを深めています。

テーマ詳細は環境学習センター「アスエコ」ウェブサイトをご覧ください。

http://www.kankyo.or.jp/asueco/delivery_lecture/



小学校での環境学習出前講座の様子

広島県センター あなたの“COOL CHOICE”教えてください!

活動テーマ 

「わたしのCOOL CHOICE 大募集!」事業

“COOL CHOICE”の普及を通じて、家庭での温暖化対策をより推進するため、広島県にお住まいの皆様から、温暖化防止のために日頃実践している取組みを募集。

集まった取組みは、選考委員による1次選考(採点)と、推進員等を対象とした交流会での2次選考(投票)を行い、金賞1件・銀賞2件・銅賞3件を決定。表彰するとともに、情報紙やHP・Facebook等を通じて紹介しています。



選考結果の報告および表彰の様子

山口県センター 山口県独自の取組「ストップ温暖化診断」

活動テーマ      

推進員による家庭の省エネ診断

「家庭におけるストップ温暖化診断」は、山口県独自の家庭の省エネ診断ツールとして、イベントや自治会で年間500世帯以上の県民が取り組んでいます。

診断員としての研修を受けた推進員が、診断結果に基づき各ご家庭にあった省エネアドバイスをを行います。この診断後に、導入した省エネ機器や変化のあった省エネ行動等の行動変容を追跡調査し、具体的なCO₂削減効果を「見える化」することで普及啓発に生かします。



温暖化診断をイベントで実施

徳島県センター 学生推進員がアースパレードを企画・運営

活動テーマ 

アースパレード2018

数々のイベントで活躍している学生地球温暖化防止活動推進員が「アースパレード2018」を徳島市で実施しました。ステージでは、まず四国の学生3人が「ストップ温暖化」を宣言。富田小学校の演奏や「マイバッグガールズ」による〇×クイズを楽しんだ後、いよいよみんなで市内をパレード。徳島インディゴソックスの選手やゆるキャラたちも一緒になって、道行く人たちにストップ温暖化とCOOL CHOICEを訴えました。



街中で「ストップ温暖化」をアピール

香川県センター お寺さんとの連携でCOOL CHOICEをひろげよう!

活動テーマ 

「うどん県のクールちょいん寺(じ)さんプロジェクト」

推進員の協力のもと、県内の寺院にCOOL CHOICEの賛同をもらい、ご住職から法話や温暖化防止のチラシの配布などで県民へCOOL CHOICE拡大を図っていただいています。賛同寺院の納経所に緑のカーテンを設置したり、お寺の夏休み子供寺子屋で環境学習を実施しました。また、8月に高松市との共同開催で、寺院向けCOOL CHOICEセミナーを開催しました。さらに賛同寺院のご住職が地球温暖化防止コミュニケーターに認定されました。



お寺から広がる COOL CHOICE!

愛媛県センター うちエコ診断を活用した普及啓発や賛同獲得

活動テーマ  

愛媛の3R企業展えひめのスゴeco集合!

COOL CHOICEの普及啓発や賛同について、効率的に行えることをポイントに実施しました。具体的には、愛媛県が実施している省エネ家電への買換えキャンペーン (CO₂CO₂がんばるキャンペーン) 等を組み合わせることにより、家電の買換えがCOOL CHOICEにつながることや、「うちエコ診断」の受診結果 (対策と提案) への取組みも「賢い選択」になることを説明しました。



イベント会場での普及啓発の様子

4 ほかにもたくさん！地域センターの活動事例

高知県センター 子ども達から始める地球温暖化防止

活動テーマ 

香南ふれあい祭り

地域に密着した産業祭へ地元の環境部局と推進員との協働で、エコブースの出展を行いました。当日は、小学生が描いた「環境絵日記」の展示を通じて子どもたちの環境活動をお披露目し、自転車発電体験を通じて、エネルギーの大切さを体感していただきました。イベント終了時には来場者が展示・体験を通して感じた自分にできるエコ宣言で「エコの木」は大きく茂り、沢山のCOOL CHOICE賛同に繋がりました。



自転車発電体験を通じた COOL CHOICE 賛同

福岡県センター どちがクール(賢い)か、クイズで学ぶ

活動テーマ 

学童保育でCOOL CHOICEのエコ講座

夏休みに学童保育を対象に、地球温暖化を防止するために自分たちにできるエコを学ぶ講座を開催しました。

講座では、地球温暖化のしくみやその影響について学び、「どっちがクール？」というCOOL CHOICEクイズを行いました。その後自分がこれからがんばるCOOL CHOICEを葉っぱの形をした紙に記入し、木の台紙に貼り付けて「エコの木」を作り、学童教室に貼ってもらいました。



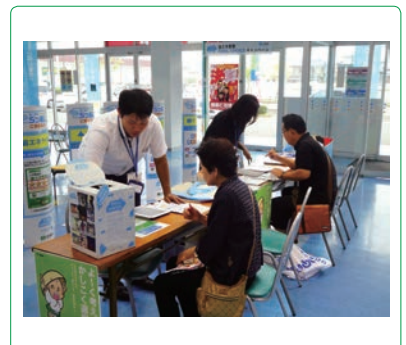
COOL CHOICE クイズに挑戦

佐賀県センター 賢い選択 5つ星省エネ家電に買換えましょう

活動テーマ 

省エネ家電 COOL CHOICEキャンペーン

佐賀県が実施する「クールチョイスSAGA」事業において、家電量販店での省エネ家電買換え促進イベントを開催しました。来客者に対して、動画やアプリを通して情報に触れるきっかけをつくり、足をとめていただいた方へはチラシやパネルを用いてCOOL CHOICEの取組や省エネ家電買換えによる省エネ・節電効果について説明することで、COOL CHOICEに関する意識や省エネ家電購買意欲を高めることができました。



「省エネ家電買換え」啓発の様子

長崎県センター 推進員は地域の力！人脈ネットワークに感謝です

活動テーマ 

みんなで、楽しくCOOL CHOICE

長崎県内の推進員が集う推進員全体研修会の中でCOOL CHOICE賛同の目標を定め、推進員が中心となり学習会やイベントで、その説明と賛同の呼びかけを行いました。特に地元に近いネットワークを持つ推進員は、自らそのネットワークを活かし、地元企業や団体、学校、また公民館や自治会などにも呼びかけを行い、多くの賛同を得ることができました。



COOL CHOICE チラシをガン見する子ども達

長崎市センター つながる、ひろがるエコライフの輪！

活動テーマ COOL Biz COOL CHOICE

ながさきエコライフの浸透と拡大

当センターでは「サステナプラザながさき」として、市民が楽しみながら環境活動を行える拠点としての場作りを行っています。定期開催の「エコカフェ」では市民にわかりやすい内容でのコンテンツを提供し、1000人規模が参加するウォークラリー開催時にはエイドステーションとして市センターを開放し、来所した市民のみなさまに緑のカーテンコンテストやフードマイレージに関心をもっていただくことができました。



エコカフェ「ヤギと羊のエコ話」

佐世保市センター 電気を使わず涼を取る

活動テーマ COOL Biz COOL SHARE

打ち水大作戦

近年、猛暑日は増加傾向にあることから、エアコンの使用時間が長くなったり、設定温度が低めに設定されてしまったりするなど、温室効果ガスの排出増加が問題視されています。そこで、古くから実施されている「打ち水」の体験を通じて、家庭からの温室効果ガス排出削減の普及啓発を行いました。幼稚園・保育園で子どもたちに体験してもらうことで、子どもから大人へ波及することを狙っています。



みんなで打ち水

熊本市センター COOL CHOICE 身近な取組をご紹介

活動テーマ COOL CHOICE

COOL CHOICE (賢い選択) コンテストの実施

COOL CHOICE運動を推進していくにあたり、こんなことも「COOL CHOICE (賢い選択)」であり地球温暖化対策となっていることを、皆さんに身近に感じてわかっていただくために、様々な方の取組を募集し、事例を集めました。

集めた事例を選考して、身近にあるこんなこともCOOL CHOICEにつながる事がわかる事例集を作成しました。



コンクールの結果と多くの事例

大分県センター 事業所に向けたエコドライブ推進

活動テーマ ECO DRIVER

事業所の安全運転管理者エコドライブ講習

地球温暖化防止活動推進員が講師となり、事業所の安全運転管理者(計3,800名)を対象に17会場21回エコドライブ講習会を行っています。DVDや啓発用パンフレット等を活用し、エコドライブを実施することによって得られる、燃費の改善、CO₂排出削減、交通事故軽減などの効果を啓発しています。講習受講者にはエコドライブステッカーを配布し、社用車に貼付してもらうことで、エコドライブの意識を高めてもらうようにしています。



推進員が講師のエコドライブ講習会

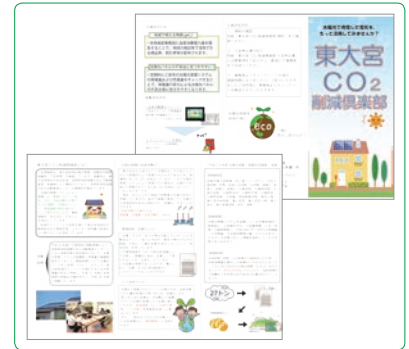
4 ほかにもたくさん！地域センターの活動事例

宮崎県センター 東大宮から地球温暖化防止！環境価値を見える化

活動テーマ その他

東大宮CO₂削減倶楽部

倶楽部会員（自宅）の太陽光発電システムにより発電した電気の内、自家消費電力を地域内で取りまとめてCO₂に換算し、第三者機関の認証を受けて証書化、企業等に販売しています。またその売り上げで、地域スーパーの割引券等を倶楽部会員へ還元し地球環境に対する意識向上、地域経済の循環などに寄与しています。更に自宅の発電量をチェックすることで機器の不具合等に気付きやすくなります。そういった利点も含めて入会募集用のパンフレットを作成し、新規会員募集に努めています。



入会募集パンフレット

鹿児島県センター 燃費計測実車講習によるエコドライブの見える化

活動テーマ Eco DRIVER COOL CHOICE

エコドライブ講習会

エコドライブの効果を把握し、継続的に実践してもらうために、燃費計測機器を設置した車で通常運転とエコドライブ運転の実車講習を行いました。さらに、参加者自身の車でも、講習会参加前と後の燃費記録簿を付けてもらい、継続的に取り組んで頂きました。また、講習会当日は、電気自動車の説明や試乗、COOL CHOICEの説明も行い、地球温暖化対策への意識変容を促しました。



エコドライブ講習会座学・実車の様子

沖縄県センター 車選びから運転の仕方までCOOL CHOICE！

活動テーマ Eco DRIVER COOL CHOICE

エコドライブとCOOL CHOICE

実際に車を運転するエコドライブ教習を通じて、受講者の方へ、「車は運転の仕方を少し変えるだけで、大きく燃費が変わること」を体感して頂きました。さらにエコカーを選ぶことにより燃料費の削減と地球温暖化防止に貢献ができることを説明しました。また、エコカーを選択する際には、燃費に加えて、車の用途や走行距離も考えることで、費用対効果に見合った車の購入に繋がることを説明しました。



エコドライブ教習実施風景

全国センター 地域での普及啓発活動を支援します！

活動テーマ その他

温暖化防止に係る啓発ツールの制作及び支援、提供

全国センターでは、地域での温暖化防止に係る普及啓発活動支援の一環として、「持てるかな？～エネルギーのかばん～」や「〇〇ボックス」など、目的に合わせた各種普及啓発ツールの制作及び全国に向けての貸出を行っているほか、地域センターのツール制作の支援を行っています。啓発ツールは環境イベントや出前講座などで広く活用されています。

ツール詳細は全国センターウェブサイトをご覧ください。 <http://www.jccca.org/tool/>

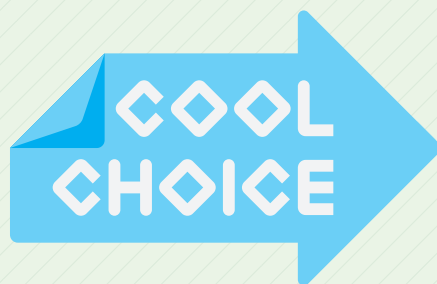


提供できる普及啓発ツールは50以上！

5 地域センター所在地一覧

(2019年3月現在)

センター	指定団体名	郵便番号	所在地	電話番号
北海道	公益財団法人北海道環境財団	060-0004	北海道札幌市中央区北4条西4-1 伊藤・加藤ビル4F	011-218-7811
青森県	特定非営利活動法人青森県環境パートナーシップセンター	030-0861	青森県青森市長島2-1-5 みどりヤビル9階	017-721-2480
青森市	特定非営利活動法人青森県環境パートナーシップセンター	030-0861	青森県青森市長島2-1-5 みどりヤビル9階	017-721-2480
岩手県	特定非営利活動法人環境パートナーシップいわて	020-0045	岩手県盛岡市盛岡駅西通1-7-1 いわて県民情報交流センター(7-1)5F	019-606-1752
宮城県	公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク	981-0933	宮城県仙台市青葉区柏木1-2-45 フォレスト仙台5F	022-301-9145
秋田県	特定非営利活動法人環境あきた県民フォーラム	010-1403	秋田県秋田市上北手荒巻字塚切24-2 遊学舎内	018-839-8309
秋田市	一般社団法人あきた地球環境会議	010-0921	秋田県秋田市保戸野通町7-33	018-874-8548
山形県	特定非営利活動法人環境ネットやまがた	990-2421	山形県山形市上楯田3-2-37	023-679-3340
福島県	特定非営利活動法人うつくしまNPOネットワーク	963-8835	福島県郡山市小原田2-19-19	024-944-0083
茨城県	一般社団法人茨城県環境管理協会	310-0836	茨城県水戸市元吉田町1736-20	029-248-7431
栃木県	一般財団法人栃木県環境技術協会	329-1198	栃木県宇都宮市下岡本町2145-13	028-673-9101
群馬県	特定非営利活動法人地球温暖化防止ぐんま県民会議	371-0854	群馬県前橋市大渡町1-10-7 群馬県公社総合ビル5階	027-289-5944
埼玉県	認定特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉	330-0074	埼玉県さいたま市浦和区北浦和5-6-5 埼玉県浦和合同庁舎3階	048-749-1217
熊谷市	特定非営利活動法人熊谷の環境を考える連絡協議会	360-0114	埼玉県熊谷市江南中央1-1 熊谷市江南庁舎	048-536-0557
千葉県	一般財団法人千葉県環境財団	260-0024	千葉県千葉市中央区中央港1-11-1	043-246-2180
東京都	公益財団法人東京都環境公社	163-0810	東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル10階	03-5990-5061
八王子市	特定非営利活動法人環境活動センター八王子	192-0906	東京都八王子市北野町596-3	042-656-3103
神奈川県	特定非営利活動法人かながわアジェンダ推進センター	221-0835	神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2 かながわ県民センター9F	045-321-7453
川崎市	認定特定非営利活動法人アクト川崎	213-0001	神奈川県川崎市高津区溝口1-4-1 ノクティ2 高津市民館内	044-813-1313
新潟県	公益財団法人新潟県環境保全事業団	950-2144	新潟県新潟市西区曾和1182	025-264-2144
山梨県	公益財団法人キープ協会	407-0301	山梨県北杜市高根町清里3545 やまねミュージアム内	0551-48-8011
静岡県	特定非営利活動法人アースライフネットワーク	420-0851	静岡県静岡市葵区黒金町12-5 丸伸ビル2階	054-271-8806
浜松市	特定非営利活動法人静岡県新エネルギー推進機構	432-8068	静岡県浜松市西区大平台3-21-18	053-485-2021
富山県	公益財団法人とやま環境財団	930-0096	富山県富山市舟橋北町4-9 富山県森林水産会館2階	076-431-4607
石川県	公益社団法人いしかわ環境パートナーシップ県民会議	920-8203	石川県金沢市鞍月2-1 いしかわエコハウス内	076-266-0881
福井県	特定非営利活動法人エコプランふくい	910-0004	福井県福井市宝永4-13-4	0776-30-0092
長野県	一般社団法人長野県環境保全協会	380-0835	長野県長野市新田町1513-2 82 プラザ長野	026-237-6625
長野市	一般社団法人長野県環境保全協会	380-0835	長野県長野市新田町1513-2 82 プラザ長野	026-237-6681
岐阜県	一般財団法人岐阜県公衆衛生検査センター	500-8148	岐阜県岐阜市曙町4-6	058-247-3105
愛知県	一般社団法人環境創造研究センター	461-0005	愛知県名古屋市中区東桜2-4-1 第3コジマビル4階	052-934-7295
三重県	一般財団法人三重県環境保全事業団	510-0304	三重県津市河芸町上野3258	059-245-7517
滋賀県	公益財団法人淡海環境保全財団	525-0066	滋賀県草津市矢橋町字帰帆2108 淡海環境プラザ (旧水環境科学館)内	077-569-5301
大津市	特定非営利活動法人おおつ環境フォーラム	520-0047	滋賀県大津市浜大津4-1-1 明日都浜大津4階	077-526-7545
京都府	特定非営利活動法人京都地球温暖化防止府民会議	604-8417	京都府京都市中京区西ノ京内畑町41-3	075-803-1128
大阪府	一般財団法人大阪府みどり公社	541-0054	大阪府大阪市中央区南本町2-1-8 創建本町ビル5階	06-6266-1271
兵庫県	公益財団法人ひょうご環境創造協会	654-0037	兵庫県神戸市須磨区行平町3-1-18	078-735-2738
奈良県	特定非営利活動法人奈良ストップ温暖化の会	631-0032	奈良県奈良市あやめ池北3-12-27	0742-49-6730
和歌山県	特定非営利活動法人わかやま環境ネットワーク	641-0014	和歌山県和歌山市毛見996-2	073-499-4734
鳥取県	特定非営利活動法人ECOフューチャーとっとり	689-1111	鳥取県鳥取市若葉台北1-1-1 鳥取環境大学内	0857-52-2700
島根県	公益財団法人しまね自然と環境財団	690-0887	島根県松江市殿町8-3 島根県市町村振興センター2F	0852-67-3262
岡山県	公益財団法人岡山県環境保全事業団	700-0907	岡山県岡山市北区下石井2-2-10	086-224-7272
広島県	一般財団法人広島県環境保健協会	730-8631	広島県広島市中区広瀬北町9-1	082-293-1512
山口県	公益財団法人山口県予防保健協会	753-0814	山口県山口市吉敷下東3-1-1	083-933-0008
徳島県	特定非営利活動法人環境首都とくしま創造センター	770-8008	徳島県徳島市西新浜町2-3-102	088-678-6091
香川県	公益財団法人香川県環境保全公社	760-0050	香川県高松市亀井町9-5	087-833-2822
愛媛県	公益社団法人愛媛県浄化槽協会	790-0063	愛媛県松山市辻町2-31	089-925-2661
高知県	認定特定非営利活動法人環境の杜こうち	780-0935	高知県高知市旭町3-115 こうち男女共同参画センター3F	088-822-5554
福岡県	一般財団法人九州環境管理協会	813-0004	福岡県福岡市東区松香台1-10-1	092-674-2360
佐賀県	特定非営利活動法人温暖化防止ネット	849-0932	佐賀県佐賀市鍋島町大字八戸溝1307-10	0952-37-9192
長崎県	公益財団法人ながさき地域政策研究所	850-0035	長崎県長崎市元船町17-1 長崎県大波止ビル1階 公益財団法人ながさき地域政策研究所内	095-820-4868
長崎市	公益財団法人ながさき地域政策研究所	850-0033	長崎県長崎市万才町10-16 パーキングビル川上2F	095-895-5541
佐世保市	一般社団法人長崎環境まちづくり社中	857-0864	長崎県佐世保市戸尾町5-1	0956-25-0055
熊本県	特定非営利活動法人くまもと温暖化対策センター	862-0912	熊本県熊本市東区錦ヶ丘31-14 別棟2F	096-273-9034
熊本市	特定非営利活動法人くまもと温暖化対策センター	862-0912	熊本県熊本市東区錦ヶ丘31-14 別棟2F	096-273-9034
大分県	特定非営利活動法人大分県地球温暖化対策協会	870-0003	大分県大分市生石4-1-20 大鉱ビル2F	097-574-6139
宮崎県	特定非営利活動法人宮崎文化本舗	880-0014	宮崎県宮崎市鶴島2-9-6 みやざきNPOハウス101号	0985-60-3911
鹿児島県	一般財団法人鹿児島県環境技術協会	891-0132	鹿児島県鹿児島市七ツ島1-1-5	099-284-6013
沖縄県	一般財団法人沖縄県公衆衛生協会	901-1202	沖縄県南城市大里字大里2013	098-945-2686



賢い選択

発行: 2019年3月

問い合わせ先: 全国地球温暖化防止活動推進センター(一般社団法人地球温暖化防止全国ネット)
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-12-3 第一アマイビル4F
TEL 03-6273-7785/FAX 03-5280-8100
<http://www.jccca.org/>

*本冊子は環境省事業「平成30年度全国地球温暖化防止活動推進センター調査・情報収集等委託業務」の一環で作成しました



古紙ハルブ配合率80%再生紙を使用



リサイクル適性[Ⓐ]

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

この印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料(Aランク)のみを用いて作製しています。